

# 視線が一致する新しい撮像装置

## 新技術の目的

導波路型ホログラム素子を用いて視線がカメラ方向と一致する撮影を行う

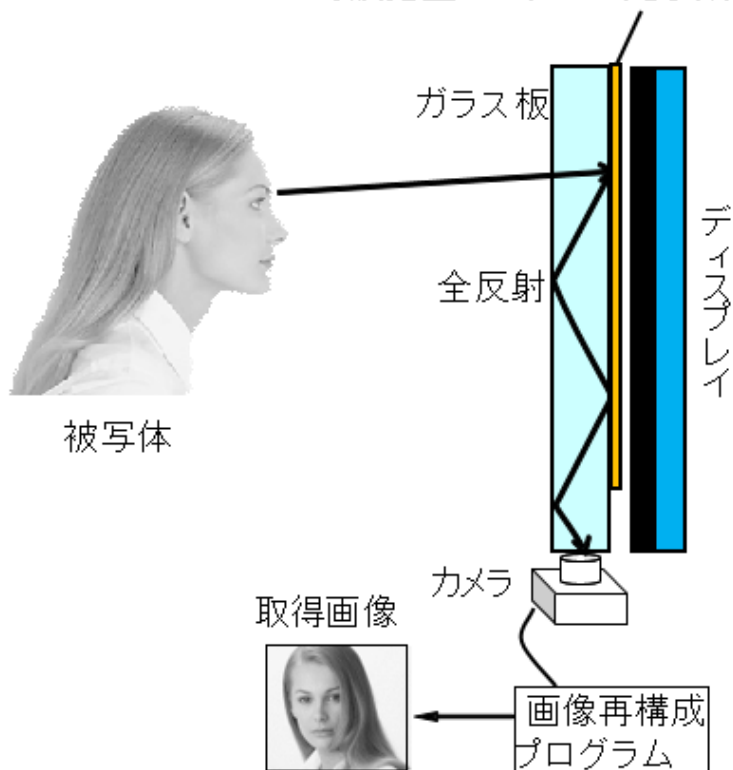
本発明は、導波路型ホログラム素子により被写体からの光をディスプレイ辺縁に導波し、これを撮影した画像を再構成することにより視線がずれない撮像を可能にするものである。

## 新技術の原理

右図に本発明の原理を示す。

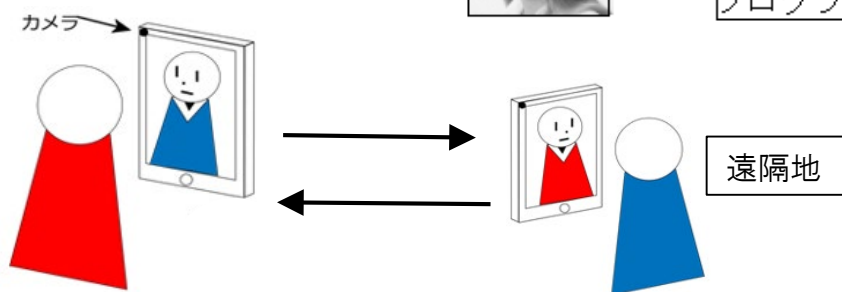
1. 導波路型ホログラム素子をディスプレイ前面に重ねて被写体からの光をディスプレイ辺縁まで導光して撮影する。
2. 撮影された画像にデジタル画像再構成プログラムを適用する。
3. これによって、スマートフォンやタブレット端末において視線一致の遠隔対話装置や自画撮影を可能になる。

導波路型ホログラム光学素子



## 応用例

本発明を応用すれば、右図のような視線の合う遠隔コミュニケーションが可能となる。



## 本技術の特徴

視線が一致する画像撮影:

- 従来: 半透明ミラーをディスプレイの前に置いて撮影 → 装置が大きくなる。
- 本技術: ホログラム素子と画像再構成のみ → 装置が小型化できる。

## 用途分野

撮像装置

## 特許情報

発明名称: 表示撮像装置

発明者: 山口 雅浩ほか(東京工業大学)

出願番号: 特願2018-142788

本学整理番号: 18T031

お問い合わせ先:

東京工業大学 研究・産学連携本部

TEL:045-924-5171 E mail: suyama@sangaku.titech.ac.jp

産学連携URA: 寿山 益夫

